2010年　循環器　本試験

1枚目　庭野先生

顕性WPW症候群の①病態　②発生しうる不整脈　③臨床的治療法について説明しなさい。

2枚目　青山先生

高血圧の治療の基本を述べよ。

3枚目　猪又先生

68歳男性　以前糖尿病と高血圧を指摘されていたが放置。　2ヶ月前から坂道を登ると息苦しさを感じ、下腿の浮腫に気がついた。1週間前より就寝1時間後前後に息苦しく、上体を起こすと楽になった。本日昼過ぎから呼吸困難により救急車により病院搬送された。来院時、起坐呼吸であったが意識清明。心拍120回/分　血圧190/80mmHg　呼吸25/分　頚静脈怒張　四肢の冷感なし　全肺野ラ音　心ギャロップ音を認めた。

1. 以下の評価の根拠を書きなさい。

①心不全か否か　②心不全重症度　③病型分類

２）初期対応を具体的に述べなさい。

4枚目　東條先生

ACSの病態、診断・治療について答えよ。

5枚目　鳥井先生

１．胸部下行大動脈解離に合併する可能性のある病態は（　　　　）（　　　　）などであるが、神経系の疾患は（　　　　）である。

２．植え込み型除細動器の適応となる疾患は（　　　　　）や（　　　　　　）である。

３．チアノーゼ性疾患において、（　　　　　　）という術式は、直接もしくは人工血管により（　　　　）と（　　　　　　）をつなぐ手術である。

４．Swan-Ganzカテーテルによる指標において心拍出量は、（　　　　）から（　　　　）に駆出する血液量を測定したものである。

５．僧帽弁に到達するには、直接（　　　　）を切り開く方法と、（　　　　）と（　　　　）を切り開く方法がある。

６．短絡の少ない心室中隔欠損であっても（　　　　　）を来たすリスクがあるので、教育指導を行う必要がある。また、大血管直下の心室中隔欠損は（　　　　）を来たす可能性がある。